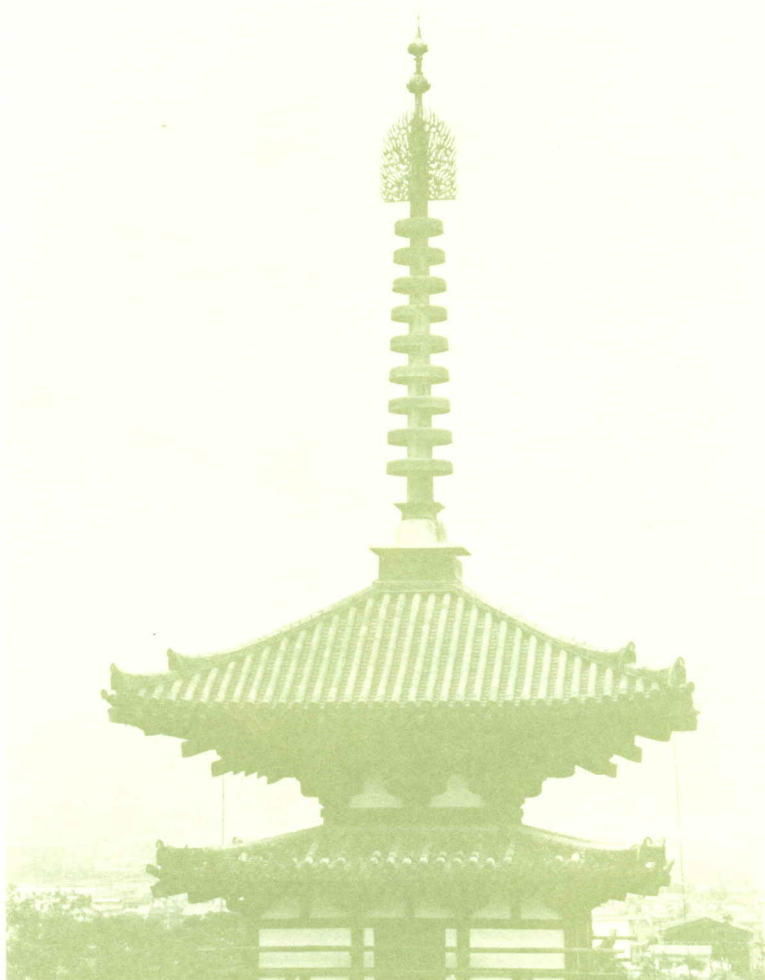


日本賞

THE  
JAPAN  
PRIZE  
1981





白鳳時代の代表的な建築物である奈良・薬師寺の東塔。  
日本賞賞牌は、この東塔の先端を飾る水煙（火焰の装飾）  
をかたどったもの。

写真撮影：入江泰吉

第13回  
「日本賞」  
教育番組国際コンクール  
報告書

と き 昭和56年10月30日～11月10日  
ところ 東京・NHK放送センター

日本放送協会  
**NHK**

---

目 次

---

はじめに	3
受賞番組	4
佳作番組	4
審査委員	5
オブザーバー	6
第13回コンクールのあらまし	7
授賞式	10
審査報告	16
受賞番組解説	18
佳作番組解説	25
第13回コンクールの印象	28
巡回ライブラリー	31
参加状況	32
参加番組一覧	33
おわりに	38



## ■はじめに



日本放送協会 会長  
坂本朝一

第13回「日本賞」教育番組国際コンクールは、世界各国の放送機関ならびに関係各位の積極的なご協力により多大の成果をおさめて無事終了いたしました。

ここに厚くお礼申し上げます。

ご承知のとおり「日本賞」コンクールは、1965年、世界各国の教育番組の向上を図るとともに、国際間の理解と協力の増進に資するために、NHKによって創設されました。以来、回をおってその意義がみとめられ、いまでは世界最大級の規模の国際コンクールに成長いたしました。そして、今回のコンクールには、世界54か国、98放送機関からラジオ・テレビあわせて156本におよぶ、すぐれた教育番組の参加をみました。

特に今回は、コンクール開催時期が国際障害者年に当り、それにちなんだテーマや幼児教育の関連番組がふえております。

また、世界各国における生涯教育や社会教育への関心の高まりを反映して、成人教育部門への参加が大きくふえているのも、今回の特色といえましょう。

さらにここ数年、発展途上国からの参加番組の質的向上はめざましいものがありますが、今回も、特別賞をはじめ多くの賞をうけられた発展途上国からの作品には目を見はるものがありました。

教育の意義は、ひとりひとりの人間性を高めることにあり、そして教育放送の使命は、ひとりひとりに、より豊かな教育を保証していくことにあると思います。今回は98という、今まで以上に多くの機関から番組がよせられました。これは、世界各地のひとつひとつの放送機関が、それぞれの社会の中で、教育放送の充実と発展にたいへん努力されていることを物語っているものと存じます。

あすの世界を築く放送教育を、人類の幸福、進歩に役立てることを願う私どもは、今後も、この「日本賞」コンクールを通じて、皆さまといっしょに、世界の教育放送の向上に、いっそうの努力を続けたいと存じます。

ここに、第13回「日本賞」コンクールの報告書をお届けするに当り、1983年の第14回コンクールには、さらに大きな成果を期待できますように、かさねて関係の皆さまのご支援をお願いするしだいです。

坂本朝一

## ■受賞番組

	賞名	題名	部門	制作機関
ラジヲ	日本賞	水の循環	初等	インド教育工学センター
	文部大臣賞 東京都知事賞	ガラガラへび ふしぎな木	中等 成人	カナダ・アルバータ教育放送協会 アイルランド放送協会
	前田賞	サボテンの庭	初等	ポーランド国営放送
	特別賞 〃	たのしいラジオ フレディが帰ってきた	初等 成人	パプア・ニューギニア国営放送委員会 ガンビア国営放送
テレビ	日本賞	人間は何をつくってきたか —宇宙船への招待	成人	日本放送協会
	郵政大臣賞 阿部賞	コマーシャルができるまで 14歳の小径	初等 中等	オーストラリア放送委員会 テレビ静岡
	放送文化基金賞 ユニセフ賞	アルファベットをおぼえよう 障害児とともに	初等 成人	スイス放送協会 モロッコ・ラジオ・テレビ教育放送
	特別賞 〃 〃	町のくらし ピタゴラスの定理 読み書きをどう教えるか	初等 中等 成人	ブラジル教育テレビセンター マレーシア国営教育メディア・サービス ニカラグア教育省教育テレビセンター

## ■佳作番組

	題名	部門	制作機関
ラジヲ	逃げだしたロボット	初等	ユーゴスラビア国営放送
	青年期の探究—絆—	中等	日本放送協会
	思春期の悩み	成人	トルコ放送協会
テレビ	ワンツー・どん—うたのおいかけっこ	初等	日本放送協会
	ハルツ紀行	中等	ドイツ民主共和国テレビ国家委員会
	赤ちゃん誕生	中等	イギリス放送協会
	ピカソ—画家の日記	成人	アメリカ WNET-13 (ニューヨーク)
	ロシア語入門—発音編	成人	フィンランド放送協会

# ■審査委員

## 《初等部会》（5名）

\*印は学識経験者，その他は参加放送機関代表

地域	国名	氏名	現職	備考
中南米	アルゼンチン	ベアトリス・ダミコ・ デ・レボッシオ*	アルゼンチン連邦放送委員会 調査研究局長	
中東	サウジアラビア	モハマド・アルファイド	サウジアラビア国営放送 放送総局長	
西欧	スウェーデン	ボルイエ・ダールクビスト	スウェーデン教育放送 専務理事	審査副委員長 初等部会長
北米	アメリカ	ロイド・カイザー	アメリカ・WQED会長	初等副部会長
日本	日本	萩原 勝	全国朝日放送 教養局次長待遇	

## 《中等部会》（5名）

西欧	フランス	ジャック・クワレス	フランス・アンテナ2 渉外局長	
アフリカ	ケニア	カサイ・デメナ*	アフリカ放送連合 番組交流センター所長	
アジア	スリランカ	チトラ・ラナワカ	スリランカ放送協会 副会長	審査副委員長， 中等部会長
北米	アメリカ	ロバート・ミルクマン*	西イリノイ大学教授 教育工学研究所長	中等副部会長
日本	日本	西山 昭雄	日本放送協会 番組制作局次長	

## 《成人部会》（5名）

東欧	チェコスロバキア	マリエ・コチコバ	チェコスロバキア国営放送 教育テレビ局長	成人副部会長
アジア	マレーシア	ソニー・メノン*	アジア太平洋放送連合事務局 番組局長	
大洋州	ニュージーランド	アラン・マーチン	ニュージーランド放送協会 テレビ総局長	審査副委員長， 成人部会長
西欧	イギリス	ロバート・マクファーソン	スコティッシュテレビジョン エジンバラ局長	審査委員長
日本	日本	太田 次郎*	お茶の水女子大学教授	

事務局長

箕浦 弘二

日本放送協会 放送総局海外業務部主幹

## ■オブザーバー

地域	国名	氏名	現職	備考
アジア	バングラデシュ	ムスタフィズル・ラーマン	バングラデシュ国営テレビ放送 番組局長	
	ホンコン	チャン・チョー・クウォン	ホンコン政庁放送 番組局長	
	〃	チュアン・シク・トン	ホンコン教育テレビ放送 数学番組部長	
	パプア ニューギニア	ジョンビリ・トコメ	パプア・ニューギニア国営放送 委員会副局長	放送文化基金 による招待
	日本	西本洋一	東海大学教授	
	〃	日下敬介	日ソ・テレビセンター	
中近東	イスラエル	ヨハンナ・プレナー	イスラエル教育テレビセンター 編成局長	
	〃	リシャ・ティルマン	イスラエル教育テレビセンター プロデューサー	
西欧	フランス	ロベール・ヴィルヌーブ	フランス・テレビ1(TF1)渉外局長	
	西ドイツ	エルンスト・エムリッヒ	ミュンヘン青少年賞財団事務局長	放送文化基金 による招待
	〃	パウル・レール	バイエルン放送協会 青少年教育番組国際研究所理事	
	〃	ルドルフ・シュヴァルツ	第2ドイツテレビジョン協会 教養番組部プロデューサー	
	スイス	エドアルト・ハース夫妻	スイス放送協会 番組制作局長	
	イギリス	レン・クライブ・テイラー	インデペンデント放送協会 教育番組局長	
東欧	ソビエト	セルゲイ・ポトロビッチ・カビツァ	ソビエト・テレビ・ラジオ放送国家委員会 教授	
	〃	ビクトル・スハノフ	ソビエト・テレビ・ラジオ放送国家委員会 教育番組部長	
アフリカ	チュニジア	モハメド・タウフィク・ベスベス	チュニジア国営放送 テレビプロデューサー	放送文化基金 による招待
北米	アメリカ	ウォーカー・バックナー	ケン財団理事長	
	〃	ウィルバー・シュラム	ハワイ・東西センター名誉所長	放送文化基金 による招待
	〃	ジョシュア・ダーサ	全米公共ラジオ 日米芸術家交換計画フェロー	
	カナダ	ジャック・ラベルジュ	ケベック教育省 教育局長	
	〃	ポール・カデュー	ラジオ・ケベック マーケティング部長	
	〃	クロード・シルベスタ	ラジオ・ケベック 編成部長	
	〃	ユゲット・ラブリーズ	ラ・プレス	
中南米	パナマ	イツツェル・ベラスケス・デ・コルテス	パナマ国営教育テレビ放送 (Canal11) 局長	放送文化基金 による招待
国連		二神重成	世界銀行教育局 首席マスメディア担当官	



# ■第13回コンクールのあらまし

## 〔コンクール日程〕

- 10月30日(金) 組織会議・開会総会・審査  
 31日(土) 審査  
 11月2日(月) 審査  
 3日(火) 審査  
 4日(水) 審査  
 5日(木) 審査  
 6日(金) 最終総会  
 7日(土) 巡回ライブラリー番組検討会  
 教育放送セミナー  
 8日(日) }  
 9日(月) } 旅行(日光)  
 10日(火) 授賞式

- 12日(木) } 第31回放送教育研究会全国大会  
 13日(金) } (山口市)



組織会議はじまる

## 組織会議・開会総会

第13回「日本賞」コンクールは、まず10月30日組織会議でNHKの坂本会長が世界の12か国から招請した審査委員15名に歓迎のあいさつを述べたあと、審査委員会が正式に発足し、委員長にイギリスのスコティッシュテレビ・エジンバラ局長ロバート・マクファーソン氏を選んだ。

このあと開会総会で、コンクールのスケジュール案、審査要領案などが承認され、審査委員は5名ずつで構成される初等・中等・成人の3部門に分かれ、部会長と副部会長を、次の通り選出した。

- 初等部会 部会長 ホルイエ・ダールクビスト  
 スエーデン教育放送  
 専務理事  
 副部会長 ロイド・カイザー  
 アメリカ・WQED  
 会長  
 中部会 部会長 チトラ・ラナワカ  
 スリランカ放送協会  
 副会長  
 副部会長 ロバート・ミルクマン  
 西イリノイ大学教授  
 成人部会 部会長 アラン・マーチン  
 ニュージージーランド放送協会  
 テレビ総局長  
 副部会長 マリエ・コチコバ  
 チェコスロバキア国営放送  
 教育テレビ局長

## 番組審査

54か国98機関から寄せられたラジオ・テレビ合せて156本の番組視聴と審査は、初等・中等・成人の三部門で、10月30日から11月5日まで続けられた。番組の視聴には審査委員のほか14か国のオブザーバー27名も参加し、会場では国際色豊かな交歓風景が繰り広げられた。

各部会は、審査期間を通じて早朝から夕方まで、ぎっしりつまったハードスケジュールを精力的にこなし、ラジオ・テレビの番組をすべて視聴したあと、審査委員の討議と投票によって最終総会に推せんする番組を選んだ。



番組視聴風景



国際色豊かなコーヒーブレイク

## 最終総会

受賞番組を決定する最終総会は、11月6日、審査委員全員が出席して開かれ、各部会で選ばれた受賞候補作品を視聴したあと、討議と投票で、ラジオ6本、テレビ8本の受賞番組を決定した。



白熱した討議をする審査委員

## 巡回ライブラリー番組検討会

巡回ライブラリー生みの親とも言えるアメリカのシュラム博士を講師に迎え、審査委員、オブザーバーが参加して11月7日に開かれた番組検討会では、ライブラリーの意義をはじめ、番組の利用、第13回のコンクール参加作品の中から新しく選ばれる巡回ライブラリー候補番組などが話し合われた。この席でシュラム博士は「最近、開発途上国の番組の質が向上してきているのは、巡回ライブラリーが世界各地で活用されている成果だと思う」と述べた。また、巡回ライブラリーのナイロビ地域センター担当者デメナ氏もアフリカでの巡回ライブラリー利用状況を報告し、教育放送に果たす巡回ライブラリーの役割を強調した。(31ページ参照)



## 教育放送セミナー

「日本賞」コンクールを契機に、世界各国から集まった審査委員、オブザーバー等による教育放送セミナーは、今日の世界の放送教育界の知識や情報を交換する場として毎回、話題になっているが、今回も、巡回ライブラリー番組検討会のあと、全国放送教育研究会連盟の先生方も多数参加して開かれた。

セミナーでは、初の試みとして事務局がNHK総合放送文化研究所の協力を得て、これまでの巡回ライブラリーに収められている番組の中から、テーマ別に、幾つかの番組の抜粋をつくり、数年前と最近の番組とを比較しながら、教育放送の歩み、今後のあり方などを熱心に話し合った。また各国の教育放送が抱える問題点等についても活発な討議が交され、セミナーは世界の教育放送事情を知る良い機会となった。



教育放送セミナー会場

## 放送教育全国大会

コンクール終了後、審査委員、オブザーバーらは11月12日と13日、山口市を訪れ、第31回放送教育研究会全国大会に参加して、全国から集まった先生方とともに市内の幼稚園、小学校、中学校で授業を参観し、日本の教育の現状について認識を新たにした。

このあと14日に大阪で放送教育の国際シンポジウムが開かれ、スリランカ、西ドイツ、アメリカの審査委員らが講師として招かれ、「新しい時代を生きるこどもとテレビ」というテーマで日本の教育関係者らと意見を交換し、実りある集いを持った。



幼稚園の授業を参観する審査委員

なお、コンクールの期間中には、東京都知事主催、放送文化基金主催のレセプション、NHKホールでの音楽会などが催されたのをはじめ、紅葉の日光への観光旅行もあり、審査委員、オブザーバーらは忙しいスケジュールの中での日本滞在を楽しんだ。



日光・華厳の滝を背にして

## 皇太子殿下のおことば



第13回「日本賞」教育番組国際コンクールが、54か国からの参加を得て行われましたことを、誠に喜ばしく思います。

近年、教育における放送の役割は、多くの人々の努力により極めて重要なものとなっております。特に、今日、放送が社会に与えている大きな影響を考えると、今回のコンクールにおいて成人教育の分野に多くの番組が参加していることは、良い番組を生み出す契機になり、国民生活をより豊かなものにする上で誠に意義深いことであると思われまます。

世界各国の放送機関が、このコンクールでお互いの経験と研究成果を交換し、各国の教育の進歩のためにより良い番組を制作するよう、今後更に努力されることを希望してやみません。

## ■授賞式

第13回「日本賞」教育番組国際コンクールの授賞式は11月10日午後2時から、東京・渋谷のNHK放送センター22階大会議室で行われた。式には皇太子殿下、同妃殿下をはじめ内閣総理大臣（代理・瓦内閣官房副長官）、郵政大臣（代理・浅尾事務次官）、文部大臣（代理・石橋政務次官）、国会議員、東京都知事（代理・野村副知事）それに関係各国大公使、海外放送機関・報道機関の在日特派員、放送教育の関係者など、およそ250人が出席した。

皇太子殿下のおことばのあと、来賓の祝辞の中で鈴木内閣総理大臣は、「放送は目ざましい発展を遂げ、各国の文化の充実・向上に大きな役割を果たしているとともに広く教育の分野に効果的に利用され、人間形成にとっても必要不可欠のものとなっている。とくに未来社会を築いていくべき若い世代の健全な育成を図るためにも放送のもつ教育的意味は、ますます必要性を増していくものと考えられる。関係者が教育放送の充実・向上に一層の努力を払われることを念願する。」と述べた。





瓦内閣官房副長官



浅尾郵政事務次官



石橋文部政務次官

つづいて山内郵政大臣は、「放送はすぐれた情報伝達  
の手段として各国々民の相互理解に欠かすことができない  
ものであり、世界の人々の心を結びつける力をもった  
文化所産である。こうした重要な意義をもつ放送に対す  
る人々の期待と関心の高まりの中で、放送のその公共的  
使命達成の一環として、すぐれた教育番組の提供により、  
学校教育・社会教育などの広い教育分野で、その効用を  
十分発揮することを期待する。」と述べた。

また、田中文化大臣は、「日本賞コンクールは過去12回  
開催の実績をもって、各国の教育番組の水準向上に寄与  
するところは多大なものがある。現在、国際的な大きな  
流れになっている生涯教育の考え方をすすめていくため  
には、いろいろな教育的機能を総合的に整備していく必  
要があるが、すぐれた教育機能をもつラジオ・テレビを  
学校教育はもとより、社会教育・家庭教育の場で活用す  
ることは、たいへん有効である。」と述べた。

一方、主催機関のNHKを代表してあいさつに立った  
坂本会長は、「今回は98という今までで最も多い数の放送  
機関から番組がよせられ、世界各国・各放送機関の教育  
放送充実への努力の様子と、このコンクールに対する関  
心・期待の大きさを物語っていることを感じる。関係各  
位のご協力により、こんごも更に放送教育の知識・経験  
を交流する場として、放送と教育の前進のために一步を  
加えるものにしたい。」と述べ、世界の放送機関をはじめ、  
教育関係者に「日本賞」コンクールの支持と協力を呼び  
かけた。



祝辞を述べるデ・コルテス女史

授賞式では、また、オブザーバーを代表して、パナマ  
国営教育テレビ放送局長のデ・コルテス女史が「テレビ  
・ラジオを教育に役立てると同じ志の人々がこのコン  
クールに集まり、世界各国・各分野で放送が教育に活  
用されている様子をまのあたりにした。このコンクール  
で受けた教訓をそれぞれの国にもちかえり、十分生かし  
ていく決意でいっぱいである。」と祝辞を述べ、審査委員  
長のスコティッシュテレビジョンエジンバラ局長 ロバ  
ート・マクファーソン氏が第13回コンクールの審査結果  
を報告した。（16ページ参照）

これにつづいて賞牌の授与が行われ、受賞者へのあたた  
かい祝福のうちに授賞式は終了した。

授賞式終了後、各賞の受賞者と審査委員全員は別室で  
皇太子殿下、同妃殿下のご接見を受け、親しくおことば  
をいただいた。





日本賞(ラジオ)を受けたオム・プラカシュ氏



文部大臣賞(ラジオ)を受けるルイズ・ハメル氏

式典での授賞は次の通り行われた。

**日本賞 (ラジオ) 「水の循環」**

(授与者) 日本放送協会 会長 坂本朝一  
 (受賞者) インド大使館 書記官  
 オム・プラカシュ

**前田賞 (ラジオ) 「サボテンの庭」**

(授与者) 日本放送協会 名誉顧問 前田義徳  
 (受賞者) ポーランド大使館 書記官  
 アンドレエフ・ニユルビエツ

**文部大臣賞 (ラジオ) 「ガラガラへび」**

(授与者) 文部政務次官 石橋一弥  
 (受賞者) カナダ大使館 アタッシュェ  
 ルイズ・ハメル

**日本賞 (テレビ) 「人間は何をつくってきたか**

一宇宙船への招待」  
 (授与者) 日本放送協会 会長 坂本朝一  
 (受賞者) 日本放送協会 報道局報道番組部  
 山田 卓

**東京都知事賞 (ラジオ) 「ふしぎな木」**

(授与者) 東京都副知事 野村銀市  
 (受賞者) アイルランド大使館 書記官  
 ポール・ゴームリー

**郵政大臣賞 (テレビ) 「コマーシャルができるまで」**

(授与者) 郵政事務次官 浅尾 宏  
 (受賞者) オーストラリア放送委員会 東京特派員  
 ウォルター・ハミルトン



日本賞(テレビ)を受けた山田卓氏



郵政大臣賞(テレビ)を受けるウォルター・ハミルトン氏





東京都知事賞(ラジオ)を受けるポール・ゴームリー氏



前田賞(ラジオ)を受けるアンドレフ・ニユルビエツ氏

**阿部賞** (テレビ) 「14歳の小径」

(授与者) 日本放送協会 会長 坂本朝一

(受賞者) テレビ静岡 常務 久保田正明

**放送文化基金賞** (テレビ) 「アルファベットをおぼえよう」

(授与者) 放送文化基金 理事長 茅 誠司

(受賞者) スイス大使館 文化アタッシュ  
ジャン・フランソワ・ゲリー

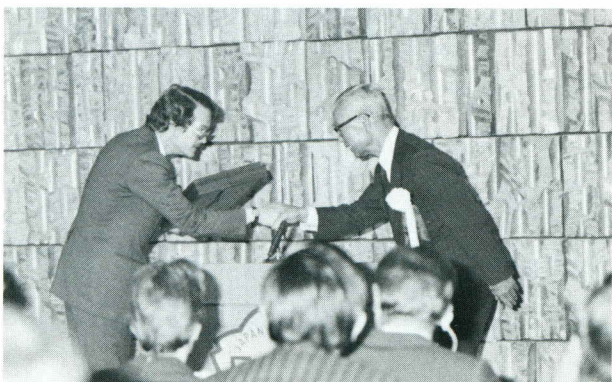
**ユニセフ賞** (テレビ) 「障害児とともに」

(授与者) 日本ユニセフ協会 会長 古垣鐵郎

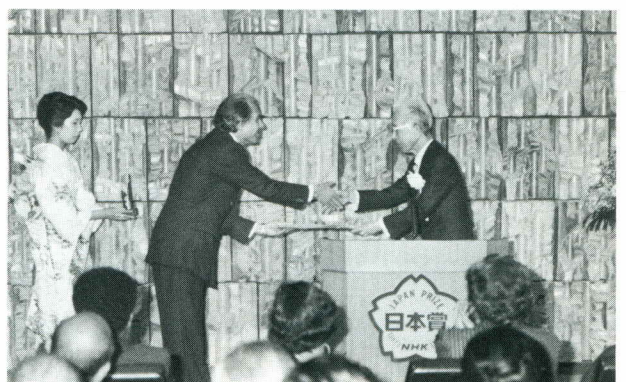
(受賞者) 駐日モロッコ大使  
アブデスラム・タドラオイ



阿部賞(テレビ)を受ける久保田正明氏



放送文化基金賞(テレビ)を受けるジャン・フランソワ・ゲリー氏



ユニセフ賞(テレビ)を受けるアブデスラム・タドラオイ大使



**特別賞（ラジオ）「たのしいラジオ」**

（授与者） スリランカ放送協会  
副会長 チトラ・ラナワカ  
（受賞者） パプア・ニューギニア国営放送委員会  
副局長 ジョンビリ・トコメ

**特別賞（ラジオ）「フレディが帰ってきた」**

（授与者） アフリカ放送連合番組交流センター  
所長 カサイ・デメナ  
（受賞者） チュニジア国営放送  
テレビ・プロデューサー  
モハメド・タウフィク・ベスベス(代行)

**特別賞（テレビ）「町のくらし」**

（授与者） アルゼンチン・連邦放送委員会  
調査研究局長  
ベアトリス・デ・レボッシオ  
（受賞者） ブラジル大使館員  
マリア・ルシア・デ・アルメイダ・ラモス

**特別賞（テレビ）「ピタゴラスの定理」**

（授与者） チェコスロバキア国営放送  
教育テレビ局長 マリエ・コチコバ  
（受賞者） アジア・太平洋放送連合事務局  
番組部長 ソニー・メノン(代行)

**特別賞（テレビ）「読み書きをどう教えるか」**

（授与者） スウェーデン教育放送  
専務理事 ホルイエ・ダールクビスト  
（受賞者） 駐日ニカラグア大使  
ホルヘ・ウエソ・カストリロ



授賞式に臨まれる皇太子ご夫妻



授賞式風景



受賞者と審査委員にお言葉をかけられる皇太子ご夫妻



# 賞 牌



文部大臣賞



日 本 賞



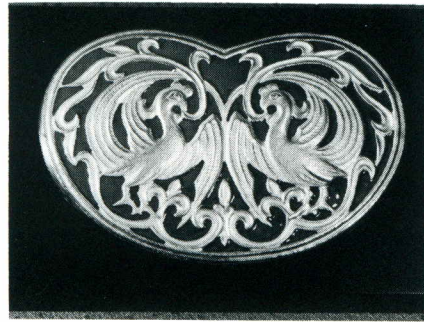
郵政大臣賞



東京都知事賞



阿 部 賞



特 別 賞



ユニセフ賞



放送文化基金賞



前 田 賞



## ■ 審査報告

審査委員長

ロバート・マクファーソン

スコティッシュテレビジョン

エジンバラ局長



皇太子殿下、美智子妃殿下 ならびにご来場の皆様、この報告は、一見したところ、審査報告というよりは、質問の連続のようにみえることでしょう。しかし、心配はご無用です。終わりにテストが行われるようなことはありません。

### “教育放送の役割は何でしょうか？”

私の考えでは、それは、就学前の段階から小学校、中学校、高校、大学まで、青年期からさらに中年期、老年期まで継続する正規の学習の幅を広げ、豊かにするものだと思います。そして、この場合、ハンディを負った障害者のことを忘れてはなりません。

### “放送教育関係者は、どうすれば、刻々に発展する放送技術や、教育の形態・内容の変化についていくことができるでしょうか？”

私は、放送番組制作者も番組利用者も、あらゆる機会をとらえて、公開討論の精神で、番組をじっくり視聴し、評価することにより、これらのすばらしい発展に対する認識を高めることができると思います。そして、「日本賞」は、まさにこのことを世界的規模で行うための、またとない機会を与えてくれる場であります。今回のコンクールに参加した私たちは、54か国、98放送機関からの156番組を視聴しましたが、すべて非常に優れており、当然のことながら、それぞれの地域の実情にピッタリ適合したものでした。

### “「日本賞」の審査委員は、どのようにして受賞番組を決定しているのでしょうか？”

ご推察のとおり、数多くの優れた作品の中から受賞番組を選びだすのは、非常に困難な仕事でした。しかし、12か国から選ばれた15人の有能な審査委員諸氏は、気がねもえこひいきもなく、公正な審査を行い、審査委員長である私の責務を軽くしてくれました。また、主催者であるNHKと「日本賞」事務局の周到にして、正確そのものの運営体制は、実際にこのコンクールを経験してみなければわからないものであり、審査委員は一人残らず、その証人となることでしょう。

正式な手順によって、各賞が決定されましたが、このコンクールに関係の深い個人や団体の名前を冠した数多くの賞が設定されていることを、大へんうれしく思います。また、特別賞も設けられていますが、これは短期間にせよ、長期間にせよ、予算や設備の面で制約のある発展途上国の放送機関への配慮を示したものであります。

### “ところで、今日、コンクールの日程の最後の式典で、すべては終わってしまうのでしょうか？”

私は決してそうは思いません。このコンクールに参加した方々一人一人が、たくさんの番組の視聴や討議を通して、新たな活力を得て、それぞれの古巣に戻り、ここでの経験を同僚たちの間に増幅させていくことでしょう。その際、全世界12か所にある「日本賞」巡回ライブラリーの地域センターも、私たちの努力を強力に後押ししてくれる拠点となることでしょう。

「日本賞」コンクールは、今後も継続されるべきでしょうか？」

すでに述べたような理由で、私は継続されるべきだと考えます。そして、このコンクールを催すのに、NHK以上にふさわしいところはありません。教育放送に対するNHKのすぐれた実績は、今では、伝説的なものにさえなっています。また、日本自身、偉大な伝統を継承し、また新しいものを把握しながら、伝統とうまくバランスをとって行くという能力を示してきています。

「今回の参加作品の特徴はいかがですか？」

長く、多忙なコンクール期間中、私たちは多くのことを語り合いました。参加番組は、異なった文化を背景にした、あらゆる年齢の人々と、あらゆる種類のテーマを取り扱っています。番組の形式も、講義調あり、実験提示あり、ドラマ、バラエティー、ドキュメンタリーありで、あらゆる形式が用いられています。また、成人向けの番組が引続き増加しています。

しかし、これから賞を受けようとする番組がもっている、純金のような特質については、審査委員やオプザーバーの方々に、いちいち説明する必要はないと思います。このコンクールに参加した私たち一人一人は、受賞作品からも、また他の番組からも、それぞれ個人的に得るものをたくさん持って帰ることでしよう。

ここで、私の記憶に残っているものの中から、少しばかり皆様にご披露させていただきたいと思います。

あるラジオ番組の中で、言葉を話し始めたばかりの幼児の声で、「いつも青い空でありますように……。いつも私がこうしていられますように……。」と言っていました。これは、この子ども個人のことから、さらに広がって人類全体を、若い世代の子孫の行く末を、思い起こさせるものでした。

私は、ここにこそ、「日本賞」の目指しているものと共通するものがあると思います。

また別の場合、ある自然環境の保護を訴える番組の中で、私たちは次のような二つの真理を想起させられまし

た。「われわれは、環境というものを、両親の世代から受け継いでいる。また、われわれは、この環境を、われわれの子どもの世代から借りうけている。」よく考えてみると、この二つは同じことをいつているのかもしれませんが、「われわれは、親の世代から受け継いだものを、立派に次の世代へ引き継いで行かねばならぬ」ということを。

私は、「日本賞」についても、これと同じことがいえると思います。そうです。私たちの先輩から受け継いだ「日本賞」の成果を、私たちは次の世代へ立派に伝えていく必要があると思いますが、皆様はいかがですか。

もう一つ。宇宙旅行の冒険を描いたテレビ番組から引用します。「人類がこれから行おうと企てるものはすべて、自由なる人々に完全に共有されねばならぬ」

そうです。私は、「日本賞」をつらぬく精神は、この中に明らかにされていると思います。「日本賞」がこれまで成しとげてきたこと、これから行おうとすることは、世界の放送人すべての共有の財産なのです。

ですから、私たちはここで、「日本賞」コンクールに拍手を送ろうではありませんか。

私は、さきに「日本賞」コンクールは継続されるべきでしょうか？」という質問を提起しました。

私は、是非そうすべきだと確信しますが、皆様はご賛同くださいますか。

それも、ただ単にある季節の間とか、あるいはハル、ナツ、アキ、フユといった一年の間とかではなく、何年も何年も、絶えることなく、いつまでも継続されるべきだと思います。

「日本賞」に参加した、ある美術工芸のテレビ番組の中で、研ぎ澄まされた本物の刀に秘められた、鏡のような英知、宝石のような格調の高さ、打てば響くような力強さといった特質が繰り返し強調されていましたが、私は「日本賞」と「日本賞」に関係するすべてのものが、このような英知、格調、力強さで祝福されることを念願するしだいです。



## ■受賞番組解説



野外授業でラジオ番組を聞くこどもたち



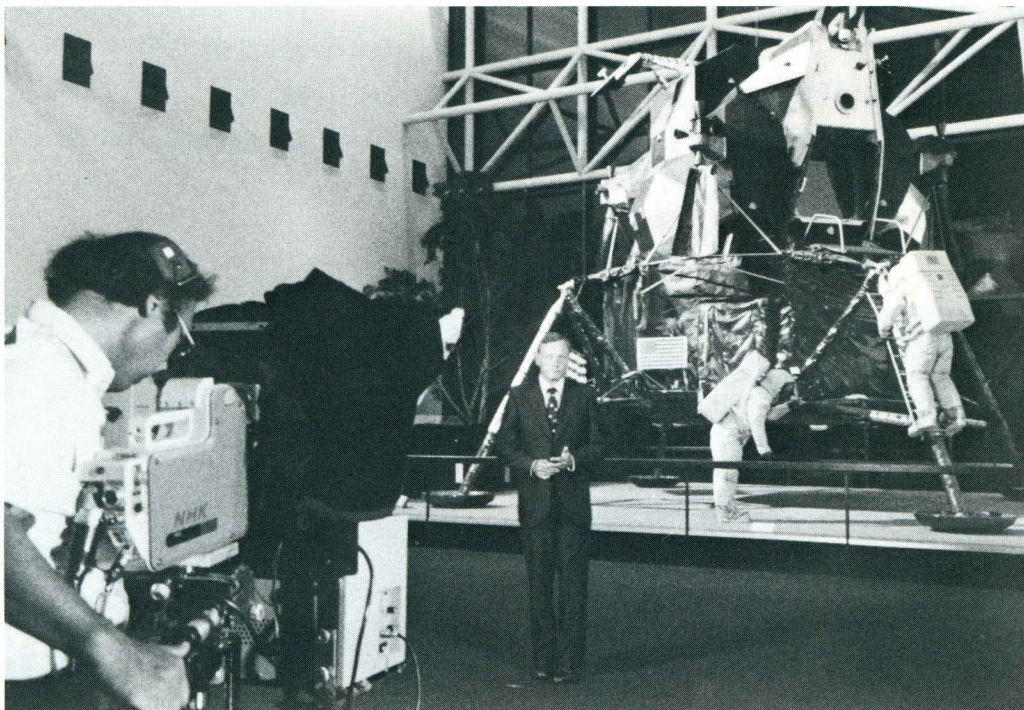
受賞を喜ぶ人々

### 日 本 賞 (ラジオ部門の最優秀番組)

題 名 水の循環  
制 作 インド教育工学センター  
部 門 初等教育  
科 目 言語  
使 用 語 ヒンディー語  
時 間 15分10秒  
プロデューサー ドラティ・チャウドリ

### (内 容)

水蒸気が雨になり、また蒸発するといった水の循環システムを、たのしい物語にして親しみ深く理解させている。子どもたちの聞く力をのばし、言語の発達を助けることを意図した、すぐれた内容の番組。



「宇宙船への招待」収録風景

日 本 賞 (テレビ部門の最優秀番組)

題 名 人間は何をつくってきたか  
—宇宙船への招待

制 作 日本放送協会

部 門 成人教育

科 目 その他(交通手段の発達)

使 用 語 英語

時 間 59分

ディレクター 山田 卓

(内 容)

アメリカ・ソビエトを中心とする宇宙開発競争の歴史をたどりながら、将来、宇宙船を交通手段として利用することの可能性にまでおよぶドキュメンタリー。アームストロング、レオノフ両宇宙飛行士の解説が明快で、構成の客観性と演出・編集技術が高く評価された。



文部大臣賞 (日本賞に次ぐラジオ中等教育部門の  
最優秀番組)

題 名 ガラガラへび  
制 作 カナダ・アルバータ教育放送協会  
部 門 中等教育  
科 目 科学  
使 用 語 英語  
時 間 14分46秒  
プロデューサー ジャッキー・ローランス

郵政大臣賞 (日本賞に次ぐテレビ初等教育部門の  
最優秀番組)

題 名 コマーシャルができるまで  
制 作 オーストラリア放送委員会  
部 門 初等教育  
科 目 社会  
使 用 語 英語  
時 間 18分55秒  
プロデューサー ジョン・フォックス



受賞を喜ぶ関係者



番組制作風景

(内 容)

ガラガラへびの生息地と、その生態を、中学生むけに楽しく構成した番組。  
人間よりも環境にずっと敏感なガラガラへびの生態を、インタビュー、歌、語りなどをおりませでユーモラスに描きながら、環境と生物の関係に目を向けさせている。

(内 容)

オーストラリアのある銀行のテレビコマーシャルの制作過程を追いかけてながら、たった60秒のコマーシャルをつくるために、どれだけ多くの人々がかかわり、どれほど多くの時間と手間がかけられているかを示す情報教育番組。



東京都知事賞 (日本賞に次ぐラジオ成人教育部門)  
の最優秀番組

題 名 ふしぎな木  
制 作 アイルランド放送協会  
部 門 成人教育  
科 目 その他(就学前の言語指導)  
使 用 語 英語  
時 間 24分40秒  
プロデューサー ジョン・クイン



受賞を喜ぶ番組関係者

(内 容)

就学前の子を持つ親を対象とした番組。  
子どもは早い時期にことばの仕組みを身につけるといわれるが、親がすすんで子どものいうことに耳を傾けてやることで、言語能力の発達に必要なことを、親子の実際の会話を提示しながらたくみに説明している。  
題名は、自分の娘のことばの成長過程を一本の木にたとえた、ある詩人の作品からとっている。

阿 部 賞 (日本賞に次ぐテレビ中等教育部門の)  
最優秀番組

題 名 14歳の小徑<sup>こみち</sup>  
制 作 テレビ静岡  
部 門 中等教育  
科 目 その他(登校拒否の問題)  
使 用 語 日本語(英語ナレーション)  
時 間 47分35秒  
ディレクター 田島良郎



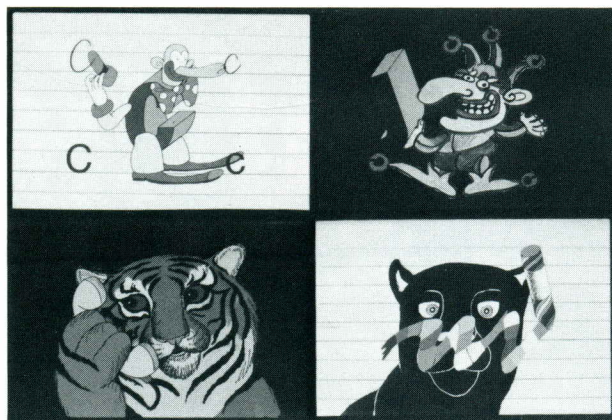
番組制作風景

(内 容)

小学校5年生から登校拒否で家に閉じこもり、14歳・中学2年生になったある少女の生活を、半年以上にわたって取材し、彼女自身が少しずつ自分を開いていく過程を描きながら、背後にある問題を考えさせるドキュメンタリー。

**放送文化基金賞** (就学前児童教育に特に役立つ番組)

題 名 アルファベットをおぼえよう  
 制 作 スイス放送協会  
 部 門 初等教育  
 科 目 言語(外国語)  
 使 用 語 (音楽のみ)  
 時 間 10分55秒  
 ディレクター フランコ・カバニ



番組の一部アニメーション

(内 容)

楽しいアニメーションで、アルファベット26文字をひとつずつ教えるもの。  
 各画面に、筆記体、活字体のそれぞれ大文字、小文字の4文字を出し、その文字ではじまる動物や物の絵をおもしろくみせて文字をおぼえさせようという番組。

**ユニセフ賞** (発展途上国の子どもの生活や境遇を扱った優秀番組)

題 名 障害児とともに  
 制 作 モロッコ・ラジオ・テレビ教育放送  
 部 門 成人教育  
 科 目 その他(基礎教育)  
 使 用 語 フランス語  
 時 間 18分25秒  
 プロデューサー アブデルラマン・キリト

**LA TELEVISION SCOLAIRE A L'HONNEUR**

• Autres enfants • un documentaire de la télévision scolaire marocaine et été récompensé par l'UNICEF.  
 En effet c'est vendredi matin que M. Abdellah Laraki, ministre de l'Éducation nationale a présidé la remise de ce prix. Cette récompense a été décernée par l'UNICEF à l'œuvre marocaine éducatrice comme l'un des meilleurs films grand écran présentés par le pays. Le Maroc pour obtenir ce prix «a été particulièrement distingué au 12<sup>e</sup> concours international de l'UNICEF.  
 En cette heureuse circonstance nous disons bravo à la télévision scolaire par le biais de laquelle le Maroc s'est offert cette haute distinction internationale qui mérite d'être prise en exemple et suivie par d'autres pays.  
 Sur la photo, M. Abdellah Laraki recevant la récompense internationale pour une émission de la T.V. scolaire des marocains.



在モロッコ日本大使館での祝賀会でユニセフ賞をうけるモロッコ教育相

(内 容)

精神薄弱児施設での子どもたちの身体活動、粘土細工、絵をかくなどの教育活動を紹介しながら、障害者教育の実際を示して、その必要性を実証している番組。

**前 田 賞** (国際理解と協力の増進に著しく寄与する番組)

題 名 サボテンの庭  
制 作 ポーランド国営放送  
部 門 初等教育  
科 目 その他(国際親善)  
使 用 語 ポーランド語  
時 間 24分5秒  
プロデューサー ゴフィア・ホルスカアルベキエル

(内 容)

母親がたくさんサボテンを育てていることから、一家でサボテンの発祥地であるメキシコへ旅行し、メキシコの文化や生活を体験するというストーリー。たのしくお話を聞きながら、他国の伝統や文化への理解を深めさせる。

**特 別 賞** (発展途上国の作品で制作努力と教育効果が顕著な番組)

題 名 たのしいラジオ  
制 作 パプア・ニューギニア国営放送委員会  
部 門 初等教育  
科 目 言語  
使 用 語 英語  
時 間 14分55秒  
プロデューサー ジョンビリ・トコメ

(内 容)

歌をうたったり、身体を動かしたりしながら、言葉を覚えさせることを目的とした番組。クイズやお話が盛り込まれて、教室で聞いている子どもたちに一体感をもたせてたのしく聞けるようにくふうされている。



喜びを語るパプア・ニューギニアのジョンビリ・トコメ氏

**特 別 賞**

題 名 フレディが帰ってきた  
制 作 ガンビア国営放送  
部 門 成人教育  
科 目 その他(野生動物保護)  
使 用 語 英語  
時 間 20分  
プロデューサー アミー・ジュフコール

(内 容)

フレディと名づけられたチンパンジーが、ある動物商に売られるが、野生動物の保護運動をしている人々に助けられて、無事、生まれ故郷のガンビアに帰ってくるというストーリーを通して、減少しつつある野生動物の保護の必要性を強く訴えている。



## 特別賞

題名 町のくらし  
制作 ブラジル教育テレビセンター  
部門 初等教育  
科目 その他（総合科目）  
使用言語 ポルトガル語  
時間 18分  
ディレクター ゴンザガ・バスコンセロス

### （内容）

子どもたちの身のまわりのものに関心をもたせ、社会的な目を広げさせることをねらった番組。  
子ども自身が登場し、身近な家族の構成、町の店のはたらきなどを音楽をおりまぜてたのしく展開している。

## 特別賞

題名 読み書きをどう教えるか  
制作 ニカラグア教育省テレビセンター  
部門 成人教育  
科目 技術指導  
使用言語 スペイン語  
時間 12分  
ディレクター マルタ・エレナ・レクレイル

### （内容）

「物を書く」ということをテーマにした教師向け番組。現代社会では、読み書きの能力がいかに大切であるか、人間はどのようにして字を発明してきたか、就学前の子どもは、文字や造形力をどのようにして身につけていくかなどを、身心および社会性の発達とのかかわりの中でとらえていく。



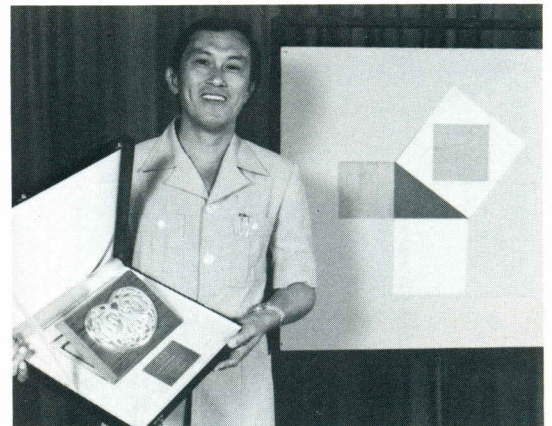
「読み書きをどう教えるか」賞状を手にした喜びの関係者

## 特別賞

題名 ピタゴラスの定理  
制作 マレーシア国営教育メディア・サービス  
部門 中等教育  
科目 数学  
使用言語 マレー語  
時間 21分30秒  
プロデューサー マムード・ヤーコブ

### （内容）

ピタゴラスの定理を、図形や模型を使ってわかりやすく説明している。また、この定理を使って直角三角形の斜辺を求めたり、立方体の対角線の求め方を示す。



「ピタゴラスの定理」の受賞を喜ぶプロデューサー



「町のくらし」の番組制作者

## ■佳作番組解説

### ●ラジオ

#### 佳 作

題 名 逃げだしたロボット  
制 作 ユーゴスラビア国営放送  
部 門 初等教育  
科 目 道徳  
使 用 語 スロベニア語  
時 間 19分  
プロデューサー イーナ・ペトリク

#### (内 容)

優秀な頭脳を持ってはいるが心を持たないロボットが町を荒らしまわるといふ物語を通して、技術の進歩と心の問題を子どもたちに考えさせる。

#### 佳 作

題 名 青年期の探究一絆<sup>ヒトツナ</sup>  
制 作 日本放送協会  
部 門 中等教育  
科 目 その他（ホームルーム活動）  
使 用 語 日本語  
時 間 23分48秒  
ディレクター 岸 一成

#### (内 容)

骨肉腫で死亡した高校生とそのクラスメイトとの間に交わされた往復書簡を中心に友情と生と死について考えるドキュメンタリー。

高校生のホームルームでの討論素材としてつくられている。



「逃げだしたロボット」番組制作風景



「思春期の悩み」で受賞のプロデューサー(左)

#### 佳 作

題 名 思春期の悩み  
制 作 トルコ放送協会  
部 門 成人教育  
科 目 その他（性教育）  
使 用 語 トルコ語  
時 間 24分15秒  
プロデューサー ムベドト・アンテル

#### (内 容)

思春期の多くの子どもたちは、「性」の問題に悩み、そして、大人はなぜほんとうのことを教えてくれないのかと訴える。

親はどのようにこれらの問題に答えるべきかをともに考えようという番組で、卒直な質問、意見をうまくつみ重ねている。



## ●テレビジョン

### 佳 作

題 名 ワンツー・どん—うたのおいかけっこ  
制 作 日本放送協会  
部 門 初等教育  
科 目 音楽  
使 用 語 日本語  
時 間 15分30秒  
ディレクター 星野慶司

#### (内 容)

小学校1年生を対象とする音楽教育番組で、身体を動かすことを通して、音楽的な感覚や表現能力をのばすことを目的としている。出演者といっしょに歌ったり遊んだりしながら、輪唱やワルツのリズムを学んでゆく。

### 佳 作

題 名 ハルツ紀行  
制 作 ドイツ民主共和国テレビ国家委員会  
部 門 中等教育  
科 目 文学  
使 用 語 ドイツ語  
時 間 20分  
プロデューサー クルト・オッテルスベルグ

#### (内 容)

文学者ハインリッヒ・ハイネが出版社を説得して「ハルツ紀行」を出版させるまでを、彼のハルツへの旅を再現しながら追って行く。文学と、その時代的背景に対する興味を高めることをねらった番組。



「ワンツー・どん」のスタジオ



## 佳 作

題 名 赤ちゃん誕生  
制 作 イギリス放送協会  
部 門 中等教育  
科 目 その他（生物学）  
使 用 語 英語  
時 間 19分50秒  
プロデューサー アンドリュー・ニール

### （内 容）

赤ちゃんの誕生を、受精の瞬間から出産まで刻明に追う。いろいろな撮影手法を用いて、排卵の瞬間や子宮内の胎児の成長ぶりを細部にいたるまでくまなくみせ、生命の尊さとすばらしさを訴える。

## 佳 作

題 名 ピカソー画家の日記  
制 作 アメリカ WNET-13 ニューヨーク  
部 門 成人教育  
科 目 芸術  
使 用 語 英語  
時 間 58分15秒  
プロデューサー ベリー・ミラー・アダト

### （内 容）

スペインの画家パブロ・ピカソの生涯と思想、そして作品の特色を、自身の日記や手紙をはじめ、家族や友人たちの証言によって浮き彫りにした番組。歴史的なフィルムをそう入しながら、ピカソが常に時代とのかかわりの中で自分の生き方を考え、それをいかにして作品の中に思想化していったかを紹介している。

## 佳 作

題 名 ロシア語入門—発音編  
制 作 フィンランド放送協会  
部 門 成人教育  
科 目 言語（外国語）  
使 用 語 フィンランド語  
時 間 25分24秒  
プロデューサー マルク・ベンテ

### （内 容）

この課では、アルファベットの読み方を覚えることがねらいで、人名を使った発音練習、歌やロシア語の中の外来語、簡単なクイズを中心に構成している。外国語学習番組としていろいろと趣向をこらして、おもしろく工夫し、出演者の親しみやすい人柄と相まって、たいへん楽しい番組になっている。



「ロシア語入門」のスタジオ

## ■第13回「日本賞」コンクールに参加して



お茶の水女子大学教授  
太田次郎

“放送は世界を結ぶきずなとなる”といわれるが、このことを実証したのが、今回の「日本賞」コンクールであった。ラジオ部門の日本賞に、インド教育工学センター制作の「水の循環」が選ばれた。この番組は、ヒンディー語で語られていたが、15人の審査委員の中にヒンディー語に通じている人は非常に少なかった。にもかかわらず、英文の翻訳と照合しながら聴いていると、語り手が楽しく、親しみ深く子どもに話している様子が目の前に浮んでくるように感じたという人が多かった。すぐれた番組は、言語の障害を越えて、聞き手の心に訴える何物かを含んでおり、そのような番組により引き起こされた感動は、言語・生活・文化の違う多くの人々をつなぐ太いきずなとなるように思われる。

今回のコンクールには、世界54か国の98放送機関が参加し、ラジオ59本、テレビ97本の番組が寄せられた。それらは、初等、中等、成人教育の3部門に分けて審査されたが、前回と比べてラジオが減りテレビがふえており、また成人教育部門がふえている。

筆者は、最も作品数が多い成人教育部門の審査委員を勤め、ラジオ23本、テレビ41本を視聴した。

初等、中等部門にも、すぐれた番組や、話題となった番組も多かった由であるが、最終審査でそれぞれの最優秀作品のラジオ、テレビ1本ずつに接した以外は、残念ながら視聴することはできなかった。

したがって、この印象記も、成人教育番組を中心に綴ることにする。



教育は学校だけで行われるのではなく、生涯を通してなされるべきであるという考えは、先進国、発展途上国を問わず、世界中の常識となりつつある。そして、テレビやラジオが有力な手段であることも、すでに広く知られている。このことを反映しているのが、成人教育番組の増加であろう。しかし、一口に成人教育番組といっても、その内容は多種多様である。自国や他国の現状を紹介するもの、過去のすぐれた文化作品を解説するもの、科学の第一線の成果を紹介するものなど、いわゆる教養を広める番組から、語学や教授法の教育など直接の教育番組までいろいろある。このごとは、先進国と途上国の別なくいえることであるが、どちらかといえば教養番組が先進国に多く、教育番組が途上国に多い傾向にあり、今回のコンクールでも同様であった。いうまでもなく、それと番組の優劣とは何の関係もない。むしろ、教養番組的な作品の中には、果たして教育番組の中に入るのか否か問題のものもあり、審査委員の間でも、今後成人教育番組とは何かについて、もう少し的確な範囲を明示すべきではないかとの意見が少なくなかった。

先進国と途上国の差は、時々刻々縮まりつつある。今回も、ある作品を途上国に与えられる特別賞に推薦しようとしたとき、その国の事情を良く知る審査委員が、もはや施設・設備の違いがないとして反対したこともあった。

テレビにおいては、画面の質などになお差が認められたが、ラジオでは特別の場合以外は、音質の差は余り感じなかった。むしろ、途上国の素朴な演出にふれて、技術的に凝ることよりも、原点にもう一度立ち戻る必要を考えさせられたこともあった。もはや、美しい画面や珍しい録音だけで、人々に訴える時代は去って、単なる演出技術を越えた制作者の意図と、その表現の仕方が重視される時代となったように思われる。

素朴な印象で、筆者が最も強い印象を受けたのは、フィンランドの語学講座「ザクスカ」である。内容は、ロシア語のアルファベットを教える単純なものであるが、出演者の人柄も感じられて、実に楽しく、素直についていくことができた。この作品は佳作に選ばれた。

ラジオでは、特別賞のガンビアの作品と、佳作のトルコの作品があげられる。前者は盗まれてヨーロッパへ連れていかれようとしたチンパンジーを保護して、ふたたび野生へ戻してやる話であり、後者は性に関する子どもの疑問に、親がどのように答えるべきかという問題を扱っている。いずれも洗練された演出とはいえないが、聴取者に訴えるものを含んでいた。

さらに、バブア・ニューギニアの作品にも強い印象を受けた。オーストラリアの農園に働きに出ていて、解雇されて母国へ戻ってきたとき、母親が再婚していたりする悲劇の話である。筋そのものはありふれた感じはしたが出演者の役に打ち込んでいる様子に心を打たれた。聴き終って、コーヒブレイクの際に、オブザーバーとしてバブア・ニューギニアから参加されていたトコメ氏にその旨を話したところ、彼は実にうれしそうに、自らもあの番組の出演者であると、強く私の手を握った。

世界の放送界が同じような問題に眼を向けていることがわかったのも、収穫の一つであった。わが国の教育番組では、「お母さんの勉強室」や「教師向けの番組」が盛んに放送されているし、教養番組として生活を豊かにする「園芸番組」や「日曜大工の番組」が、視聴者から歓迎されている。今回、海外から出品された作品にも、それと似たものが少なくなかった。チリの「数学の集合」を扱った番組、マレーシアの「ランの栽培法」の番組、ニュージーランドの「土セメントで家をつくる」番組などがその例である。それらはいずれもテレビの番組であるが、ラジオでも同様なカテゴリーに入る番組が何本かあった。

中等教育部門の最優秀テレビ番組として阿部賞を受賞したテレビ静岡の「14歳の小径」についても、同じことがいえる。この作品では、小学校5年生から登校拒否で家に閉じこもっていた少女が、中学2年生になり、少しずつ自分の心を開いていく過程が描かれている。登校拒否や自閉症の問題は、先進国と途上国の別なく世界共通の問題であるらしく、各国の審査委員は真剣に受けとめた様子であった。ここでも、「世界は一つ」であるということが強く実感させられた。

生涯教育とは何か、その中でラジオやテレビをいかに位置づけていくべきかは、それぞれの国情の違いにもかかわらず、共通した面が多くあり、今後、関係者の間で十分な検討がなされるべきことであろう。その点で、今回のコンクールは、単なる受賞作品の選抜以上の物を与えてくれたようである。

今回参加して楽しかったのは、審査委員やオブザーバーとして来日された各国の人々と、番組だけでなく、様々な問題で意見を交換できたことである。連日の審査に疲れて、コーヒーブレイクや食事の時間に一人でほっとしたいと感じたこともあったが、その疲れを忘れさせるほど、親しみを感じる雰囲気は保たれていた。特に、成人教育部門の5人の審査委員とは朝から晩まで6日間も接していたので、審査を終るころには、長い間の友人であったような感じさえもった。

成人教育部門では、視聴後の印象がうすれない内に意見交換をする必要があるとして、ほとんど毎日、視聴後に簡単な討論を行った。その際、一つ一つの番組について各自の意見を述べたが、結果は驚くほど一致した。さらに、高い評価を得られない番組についても、けなすのではなく、制作者の意図を汲み上げようとする態度がみられた。途上国の番組については、とりわけ気を使っていた。筆者は、専門の学会で討論する機会をもった経験しかないが、今度の「日本賞」コンクールのように、人間性にあふれた話し合いのできたことは初めてであった。

オブザーバーを合わせても、全体として約50人ぐらいの手ごろな人数であったことが、話し合いの環を引きしめるのに役立つのであろう。ほとんどの人が初対面であるにもかかわらず、放送の現状や未来に関して忌憚ない意見をかわすことができた。オブザーバーの1人から、「今回のコンクールは他に例のないほど有意義であった。この関係を持続するために、今後もコミュニケーションを続けることが必要と感じて、帰国途上の飛行機の中で早速この手紙を書いた」との通信を受けたり、単なる儀礼を越えた文章を添えたクリスマスカードをいく人かの参加者からいただいたのも、このコンクールならではのできごとと感じた。

このように、日本賞コンクールは、世界の教育番組関係者の交流の場としての位置づけが確立してきた感じである。先進国と途上国、あるいはそれぞれの相互間に、技術面だけでなく、演出のしかた、視聴者のニーズなどについて、さらにきめ細かい交流がなされることが望まれる。今回の参加作品にも、それぞれのお国ぶりをあらわしている番組があった。NHKの職員が演出指導に派遣されていた放送機関の番組などは、展開のしかたがNHKそっくりというものさえあった。そのことの良し悪しは別にしても、このような努力によって、先進国と途上国の距離が縮まり、やがて放送については世界は同じレベルに到達するであろうという希望が見えてきた。

その場合、世界は一つであるとして、互いに似かよった番組を制作しようとするのではなく、それぞれの国や放送機関の個性がいかされた番組がつくられることがのぞましいのは、いうまでもないであろう。

放送は常に明日に向って開かれ、歩み続けている。今回のコンクールに参加した人々の胸の中に残されたものが、有形無形に、次回以後の参加番組の中に実現されて、このコンクールがさらに発展、充実していくことを、心からのぞんでいる。



# ■「日本賞」巡回ライブラリー

「日本賞」巡回ライブラリーは、「日本賞」コンクールの成果を広く世界の放送・教育機関に伝え、教育放送の向上発展に役立てるために1974年に設立されたものである。

このライブラリーは、「日本賞」コンクールに参加した作品の中から内容が特にすぐれ、教育的価値が高いと評価された番組が選ばれ、世界の10か国12か所にある巡回ライブラリーの地域センターに配備され、研修あるいは研究用に利用される。

巡回ライブラリー「地域センター」所在地：

東京、シンガポール、バンコク、テヘラン、ミュンヘン、ナイロビ、ホノルル、オースチン、ブルーミントン、トロント、メキシコシティ、サンパウロ

●なお、巡回ライブラリーの貸し出しのお申し込みやお問い合わせは、次のところで受付けています。

〒150 東京都渋谷区神南2-2-1

NHK 海外業務部

「日本賞」コンクール事務局

電話 03-465-1111

## 1981年版「日本賞」巡回ライブラリー番組一覧

### ●ラ ジ オ

番組名	部門	時間	制作機関
水の循環	初等(言語)	15分10秒	インド教育工学センター
ガラガラへび	中等(科学)	14分46秒	カナダ・アルバータ教育放送協会
ふしぎな木	成人(就学前の言語指導)	24分40秒	アイルランド放送協会
サボテンの庭	初等(国際親善)	24分05秒	ポーランド国営放送
フレディが帰ってきた	成人(野生動物保護)	20分00秒	ガンビア国営放送
たのしいラジオ	初等(言語)	14分49秒	パプア・ニューギニア国営放送委員会
逃げだしたロボット	初等(道徳)	19分00秒	ユーゴスラビア国営放送

### ●テ レ ビ

番組名	部門	時間	制作機関
人間は何をつくってきたか—宇宙船への招待	成人(交通手段の発達)	59分00秒	日本放送協会
コマーシャルができるまで	初等(社会)	18分55秒	オーストラリア放送委員会
14歳の小径	中等(登校拒否の問題)	47分35秒	テレビ静岡
ピタゴラスの定理	中等(数学)	21分30秒	マレーシア国営教育メディア・サービス
読み書きをどう教えるか	成人(技術指導)	12分00秒	ニカラグア教育省教育テレビセンター
赤ちゃん誕生	中等(生物学)	19分50秒	イギリス放送協会
ロシア語入門—発音編	成人(外国語)	25分24秒	フィンランド放送協会

## ■ 参加状況

参加国・参加機関数

( ) 初参加

地 域	参加国数	参加機関数
ア ジ ア	9	15(3)
オ セ ア ニ ア	3	4
中 東	3	5(2)
西 欧	12	24
東 欧	8	11
ア フ リ カ	8(2)	8(2)
北 米	2	16(3)
中 南 米	9(1)	15(3)
合 計	54(3)	98(13)

参加番組数

	ラジオ	テレビジョン	計
初等教育部門	19	30	49
中等教育部門	17	26	43
成人教育部門	23	41	64
合 計	59	97	156

参加番組種目別内訳

《ラジオ》

《テレビジョン》

種 目	部 門	《ラジオ》				《テレビジョン》			
		初 等	中 等	成 人	計	初 等	中 等	成 人	計
公 民		0	2	1	3	0	1	0	1
地 理		1	0	0	1	2	1	1	4
歴 史		3	2	3	8	2	2	1	5
言語(国 語)		2	1	0	3	1	1	1	3
言語(外国語)		1	0	1	2	1	1	2	4
音 楽		1	4	2	7	1	4	2	7
芸 術		0	0	0	0	1	1	4	6
文 学		3	2	1	6	1	1	0	2
科 学		0	2	0	2	3	4	5	12
数 学		0	0	0	0	2	1	2	5
社 会		2	1	1	4	2	4	4	10
道 徳		2	0	0	2	3	1	0	4
宗 教		0	0	0	0	0	0	1	1
体 育		0	0	0	0	2	0	0	2
保 健 衛 生		1	0	1	2	3	0	2	5
技 術 指 導		0	1	0	1	1	0	2	3
文 盲 教 育		0	0	1	1	0	0	2	2
そ の 他		3	2	12	17	5	4	12	21
合 計		19	17	23	59	30	26	41	97



# 参加番組一覧

〔注〕国名はアルファベット順

(初) ……初等部門

(中) ……中等部門

(成) ……成人部門

※印……初参加国・機関

Ⓜ……ラジオ

Ⓣ……テレビ

## アジア9か国, 15機関

### バングラデシュ

#### バングラデシュ国営テレビ放送(BTV)

- Ⓣ 自分をみつめなさい (初)道徳

### ホンコン

#### ホンコン政庁放送(RTHK & ED)

- Ⓣ 四角形のなぞ (初)算数  
 Ⓣ 異性との交際 (中)社会

### インド

#### インド国営テレビ(DDI)

- Ⓣ 写真の仕組み (中)その他(写真技術)

#### インド教育工学センター(CET)

- Ⓜ 水の循環 (初)言語(国語)

### インドネシア

#### インドネシア国営ラジオ放送(RRI)

- Ⓜ きれいな空気 (成)保健衛生

### 日本

#### 全国朝日放送(ANB)

- Ⓣ 親の目の目一すべり台つくった!  
 (成)その他(親子関係)

#### ※毎日放送(MBS)

- Ⓣ 親の目の目一6か月, 10キロやせる…?  
 (成)社会

### テレビ静岡(SUT)

- Ⓣ 14歳の小径 (中)その他(登校拒否の問題)

### 日本放送協会(NHK)

- Ⓜ 通信高等学校講座「音楽のしくみ」 (中)音楽  
 Ⓜ 青年期の探究一絆 (中)その他(ホーム・ルーム活動)  
 Ⓣ ワンツー・どんうたのおいかけっこ (初)音楽  
 Ⓣ 人間は何をつくってきたか (成)その他(交通手段の発達)  
 一宇宙船への招待

### 韓国

#### 韓国放送公社(KBS)

- Ⓜ 身体の障害をのりこえて (成)公民  
 Ⓣ 夢の国ものがたり (初)道徳  
 Ⓣ 石窟庵 (成)芸術

### マレーシア

#### ※マレーシア国営教育メディア・サービス(EMS)

- Ⓜ ポルトガル人によるマラッカ占拠(初)歴史  
 Ⓜ たのしい英語教室「バケツの穴」(初)言語(外国語)  
 Ⓣ ビタゴラスの定理 (中)数学  
 Ⓣ マレーシアの蘭 (成)その他(蘭の栽培)

### パキスタン

#### パキスタン放送協会(PBC)

- Ⓜ 効果的な指導法(小学校) (成)その他(教育技術)  
 Ⓜ トラクターの修理・保守 (成)その他(電気電池)

#### パキスタン放送協会(PTV)

- Ⓣ 夜明けは近い (成)文盲教育

### シンガポール

#### シンガポール放送協会(SBC)

- Ⓣ 中国語講座「空き巣事件」 (成)言語(国語)

#### ※シンガポール国営教育工学カリキュラム開発研究所

- Ⓣ こどもの遊び場 (初)言語(国語)

## オセアニア3か国, 4機関

### オーストラリア

#### オーストラリア放送委員会(ABC)

- Ⓡ 物語の世界「少年バーディエロ」(初)文学
- Ⓡ どうやってスケッチするの? (初)その他(美術表現)

- Ⓣ コマーシャルができるまで (初)社会
- Ⓣ 上手な書き方, 話し方 (中)言語(国語)

### ニュージーランド

#### ラジオニュージーランド(RNZ)

- Ⓡ 職業の展望 (成)その他(啓発)

#### テレビニュージーランド(TVNZ)

- Ⓣ 野生の探求 (初)科学
- Ⓣ 日曜大工「ソイルセメントの家」  
(成)技術指導

### パプア・ニューギニア

#### パプア・ニューギニア国営放送委員会(NBC)

- Ⓡ たのしいラジオ (初)言語(国語)
- Ⓡ 帰郷 (成)歴史

## 中東3か国, 5機関

### イスラエル

#### イスラエル放送協会(IBA)

- Ⓡ 友人との出会い (中)公民

#### イスラエル教育テレビセンター(ITC)

- Ⓣ 何故ゼロで割り切れないか? (初)算数
- Ⓣ 建国への歩み (中)歴史

### ヨルダン

#### ※ヨルダン国営教育ラジオ・テレビ放送

- Ⓣ 竹細工の技法 (中)芸術

### トルコ

#### トルコ放送協会(TRT)

- Ⓡ 思春期の悩み (成)その他(性教育)

#### ※トルコ教育テレビ研究所

- Ⓣ 川と生活 (成)その他(環境教育)

## 西欧12か国, 24機関

### ベルギー

#### ベルギー・オランダ語放送協会(BRT)

- Ⓣ ローヌ川 (初)地理
- Ⓣ ベルギーの文盲追放作戦 (成)文盲教育

#### ベルギー放送協会(RTBF)

- Ⓡ ねずみと騒音 (初)道徳
- Ⓡ 環境教育の問題点 (中)その他(社会見学)
- Ⓣ 手のはたらき (初)その他(表現活動)

### デンマーク

#### デンマーク放送協会(DR)

- Ⓣ モザンビークー建国への歩み (中)公民
- Ⓣ 40歳からの女の生き方 (成)社会

### フィンランド

#### フィンランド放送協会(YLE)

- Ⓡ 音響環境—変わりゆく世界— (中)音楽
- Ⓡ 5分間英語学習 (成)言語(外国語)
- Ⓣ 考える目 (成)芸術
- Ⓣ ロシア語入門—発音編 (成)言語(外国語)

### フランス

#### ラジオ・フランス(SRF)

- Ⓡ 運河地帯の水上生活者 (成)社会
- Ⓡ フランスでのチベットの仏教徒たち  
(成)その他(宗教教育)

#### フランス・レジョン(FR3)

- Ⓡ 詩の鑑賞「王様に」 (初)文学
- Ⓡ 詩の鑑賞「鳥が消える」 (初)文学
- Ⓣ 経済に出てくる英語 (成)言語(外国語)

#### フランス・テレビ1(TF1)

- Ⓣ 本の誕生 (初)社会

#### アンテナ2(A2)

- Ⓣ 歴史探訪「古代ゴール人の生活」(初)歴史

### ドイツ連邦共和国(西ドイツ)

#### バイエルン放送協会(BR)

- Ⓣ 作曲への誘い (中)音楽

#### ブレーメン放送協会(RB)

- Ⓣ 英語教室「ウーファーに会う」 (中)言語(外国語)



### 南西ドイツ放送協会(SWF)

- ① 音楽と拍子 (中) 音楽

### 西部ドイツ放送協会(WDR)

- ① 巨大都市 (中) 社会

### 第2ドイツ・テレビジョン協会(ZDF)

- ① クラシックとポップスのちがい (中) 音楽
- ① 見えた、聞こえた (成) 健康

### アイルランド

### アイルランド放送協会(RTE)

- ① 職業の選択 (中) 技術指導
- ① ふしぎな木 (成) その他(就学前の言語指導)

### イタリア

### イタリア放送協会(RAI)

- ① 五色のバラエティー「むし歯の予防」 (初) 健康
- ① 五色のバラエティー「大切なビタミン」 (初) 健康

### オランダ

### オランダ放送連盟(NOS)

- ① 徹底討論「暴力行為」 (中) 道徳
- ① 現代天文学 (成) 科学

### ポルトガル

### ポルトガル国営ラジオ放送(RDP)

- ① スノー・ボール (初) 社会

### ポルトガル国営テレビ放送(RTP)

- ① ミュージカル・ファンタジー (中) 音楽

### スウェーデン

### スウェーデン教育放送(UR)

- ① 山の世界 (初) 地理
- ① ぼくには聴こえない (中) 公民
- ① 赤ちゃんはどうして生まれるの? (初) 身体
- ① 大人たちはわかってくれない (成) その他(父親教育)

### スイス

### スイス放送協会(SBC)

- ① アルファベットをおぼえよう (初) 言語(外国語)

### イギリス

### イギリス放送協会(BBC)

- ① 南アメリカ (中) 歴史
- ① 「テンベスト」の研究 (成) その他(ドラマ)
- ① 赤ちゃん誕生 (中) その他(生物学)
- ① 風媒 (成) その他(自然科学)

### 公開大学(OU)

- ① 古典派オーケストラ (成) 音楽
- ① 島の中の島 (成) 科学

### ITV-スコティッシュ・テレビジョン(STV)

- ① グレネスク民俗博物館を訪ねて (初) 歴史

### ITV-チームズ・テレビジョン

- ① 視点II「黒人差別の問題」 (中) 社会

## 東欧8か国, 11機関

### ブルガリア

### ブルガリア国営ラジオ放送

- ① 美学—悲劇 (成) その他(美学)
- ① 美学—喜劇 (成) その他(美学)

### チェコスロバキア

### チェコスロバキア国営ラジオ放送(CR)

- ① 知恵ある者たちの会話 (中) 音楽

### チェコスロバキア国営テレビ放送(CT)

- ① 春の野山 (初) その他(自然科学)
- ① 地球—この未知の天体 (成) 科学

### ドイツ民主共和国(東ドイツ)

### ラジオ国家委員会

- ① 初めての収穫 (初) 歴史
- ① 名曲紹介—オネガー作曲「バシフィック231」 (中) 音楽

### テレビ国家委員会

- ① 水辺や水中の動物と植物 (初) 科学
- ① ハルツ紀行 (中) 文学

### ハンガリー

### ハンガリー国営ラジオ放送(MR)

- ① 言葉と理解の方法 (中) 言語(国語)

ハンガリー国営テレビ放送(MTV)

- ㊦ 木工のたのしみ (初)技術指導
- ㊦ 乳幼児とあそび (成)社 会

ポーランド

ポーランド国営放送

- ㊦ サボテンの庭 (初)その他(国際親善)

ルーマニア

ルーマニア放送委員会(RTR)

- ㊦ 音楽家たち (初)音 楽
- ㊦ 歌にあわせて絵を描こう (初)芸 術
- ㊦ 植物の敏感な反応 (中)科 学

ソビエト

テレビ・ラジオ放送国家委員会

- ㊦ 宝探し (成)歴 史
- ㊦ アイデアの誕生—チオルコフスキーの生涯 (成)科 学

ユーゴスラビア

ユーゴスラビア国営放送(JRT)

- ㊦ 逃げ出したロボット (初)道 徳
- ㊦ おはよう 子どもたち (初)その他(国際親善)
- ㊦ 勇気 (初)道 徳

ケニア

ケニア国営放送(VOK)

- ㊦ カレンジン族のリズム (成)音 楽
- ㊦ 遊びを通して学ぶ (成)社 会

※モロッコ

※モロッコ・ラジオ・テレビ教育放送

- ㊦ 障害児とともに (成)その他(基礎教育)

ナイジェリア

ナイジェリア・連邦ラジオ協会

- ㊦ おつけ (中)文 学
- ㊦ 科学と民間伝承 (中)科 学

スワジランド

スワジランド国営ラジオ放送(SBS)

- ㊦ スワジランドの社会史 (初)歴 史

ザイール

ザイール国営ラジオ放送

- ㊦ 読書と探索 (成)その他(読書指導)

北米2か国, 16機関

アフリカ8か国, 8機関

エジプト

エジプト・アラブ共和国国営放送(ERTV)

- ㊦ わが祖国 エジプト (成)地 理

※ブルンジ

※ブルンジ国営放送

- ㊦ 子どもたちとの語らい (初)健 康

ガンビア

ガンビア国営放送

- ㊦ 家でのおてつだい (初)社 会
- ㊦ フレディが帰ってきた (成)その他(野生動物保護)

アルバータ教育放送協会(ACCESS Alberta)

- ㊦ ガラガラへび (中)科 学
- ㊦ 魔法のパイプ (初)文 学

カナダ放送協会(CBC)

- ㊦ 21世紀のクリスチャン (成)宗 教

セベックラジオ・テレビ放送協会

- ㊦ りんご (中)地 理

ケベック教育省(SGME)

- ㊦ 毛皮と市とインディアン (中)歴 史

オンタリオ教育コミュニケーション公社(TV Ontario)

- ㊦ 温度の測定 (中)科 学

※マルチリンガルテレビ会社

- ㊦ 日本 きのう、きょう、あした(成)その他(日本研究)



## アメリカ

### 教育テレビ・エージェンシー(AIT)

- ① 文化遺産をうけつぐ (初)その他(学習指導)  
① 人種的偏見にどう対処するか (中)社会

### ※スタンフォード大学放送局

- ① タバコをやめました (成)健康

### アメリカ・CTW

- ① 3-2-1 コンタクト「食品とエネルギー」  
(初)科学

### ハワイ州教育テレビジョン(DOE/ETV)

- ① 人間の生き方 (成)その他(コミュニケーション)

### KERAテレビジョン

- ① 身体と心 (成)健康

### KPBS-FM

- ① 南北戦争 (成)歴史

### 全米公共ラジオ(NPR)

- ① アフガニスタン・危機の背景 (中)社会  
① スコット・フィッツジェラルドの世界  
(成)文学

### ニューヨーク州教育局放送(BMC)

- ① 肥満児の悩み (初)健康

### WNET-13ニューヨーク

- ① ピカソ—画家の日記 (成)芸術

### ※WQED-ピッツバーグ

- ① 日本の人間国宝 (成)芸術

## 中南米 9 国, 15 機関

### アルゼンチン

#### アルゼンチン国営ラジオ放送

- ① サイネッテ—アルゼンチンのオペレッタ  
(中)文学  
① 西洋音楽1000年 (成)音楽

#### ※アルゼンチンテレビ—CANAL 7

- ① ようこそ アルゼンチンへ (成)音楽

### ブラジル

#### MOBRAL

- ① モブラルの日曜ラジオクラブ (成)文盲教育

### アンシエータ財団サンパウロ教育放送センター

- ① 何の音だろう (初)その他  
(就学前教育)

### ランデル・デ・モウラ教育財団(FEPLAM)

- ① 土壌の回復 (成)その他(農業指導)

### ブラジル教育テレビセンター(FCBTVE)

- ① 町のくらし (初)その他(総合科目)  
① 身の回りの物を観察する (成)科学

## チリ

### チリ・カトリック大学(TELEDUC)

- ① 人形たち, 学校へ行く (成)数学  
① だれでも算数がわかる (成)数学

## ※コスタリカ

### ※コスタリカ・テレビ—CANAL 7

- ① ファンタジー (初)地理

## キューバ

### キューバ国営放送(ICRT)

- ① 3年生の運動会 (初)体育  
① 製糖工場の実地見学 (中)科学

## メキシコ

### ※メキシコ地方テレビ—TRM

- ① バック (成)その他(農業)  
① 配管 (成)その他(職業教育)

### メキシコ・ラジオ・テレビ放送協会—チャンネル13

- ① すばらしいメキシコ (中)その他  
(メキシコ民俗舞踊)

### テレビサ・S.A. (TVA)

- ① いっしょに歩こう (成)その他(家族計画)

## ニカラグア

### ニカラグア教育省教育テレビセンター

- ① 読み書きをどう教えるか (成)技術指導

## パナマ

### CANAL 11

- ① 遠視と近視のメカニズム (中)科学

## ペルー

### 国立テレビ教育研究所(INTE)

- ① ペルーの民族祭典 (中)歴史

## ■おわりに

「日本賞」コンクール事務局長

箕 浦 弘 二

第13回「日本賞」コンクールが無事終了し、ここに報告書をお届けする運びとなりましたことは、関係各位の一方ならぬご協力のたまものと深く感謝いたします。

今回のコンクールには、ブルンジ、モロッコ、コスタリカなどの初参加をはじめ、世界各国から数多くの優れた教育番組がよせられました。また今回、特徴的だったのは、開催された時期がちょうど国際障害者年に当たったためか、それに因んだ関連番組がふえたことと、もう一つはラジオ・テレビともに成人教育部門の参加番組がふえたことでした。これは世界的にみられる生涯教育、成人教育への関心の高まりを反映するものだと思います。また、これは世界各国が放送を通じての教育の充実、改革に真剣に取り組んでいる熱意のあらわれともいえましよう。

テレビ・ラジオあわせて160本近い膨大な参加番組を、限られた日程の中で視聴、審査していただくため、審査委員の方々にはかなりハードワークをお願いせざるをえませんでした。このような強行スケジュールにもかかわらず、厳正な審査を行っていただいた審査委員の方々のご努力に心からお礼申し上げます。

特に今回のコンクールの審査委員長をつとめられたR.マクファーソン氏は、長年、EBUのセミナーなどで国際的に活躍された実績を生かし、卓越した手腕を発揮して、今回のコンクールを成功に導かれました。深く感謝するしだいです。

また、今回のコンクールには世界の教育放送界で著名なW. シュラム博士（ハワイの東西センター名誉所長）をはじめ、世界各国から多数のオブザーバーの方々が参集され、番組視聴や教育放送セミナーなどに参加して、教育放送のあり方や今後の課題などに白熱した討論を展開されました。これらを通じて私たちが痛感したことは、ひとくちに教育番組といっても幼児向けから成人向けまで幅が広く多様であるということと、国により、地域によって教育事情がいろいろ違って、教育放送を充実させようという熱意には違いはないということです。アフリカからの参加者の一人が、「教育の発展には先進国も開発途上国もない。教育には終りはないのだ。」と胸をはっていた姿が、強く印象に残っています。

また、「日本賞」の成果を広く世界の教育放送界に伝達し、研修に活用していただく手段として、「日本賞」巡回ライブラリーの重要性はますます大きくなってきていますが、最近、南米のサンパウロに地域センターが新設され、これまでのものとあわせて、ほぼ全世界をカバーして積極的に活動しています。この巡回ライブラリーを助成していただいている財団法人放送文化基金と、各地域センターの関係者の方々のご協力に、ここに改めて厚くお礼申し上げるしだいです。

また、「日本賞」コンクールの創立以来、物心両面にわたって援助をいただいているW.G. バックナー氏（米ケン財団理事長）が、今回のコンクールにもご参加くださったことを深く感謝いたします。

教育放送の仕事に終わりはありません。一つの締めくくりは、次へのスタートでもあります。1983年の、第14回「日本賞」コンクールへ向けての、新しい動きがもう世界各地で始まっていることでしょう。

私たちは、力作を期待しています。

## 〔コンクール関連番組〕

### 総合テレビ

10月29日(木)午後7:27~7:30

NHKガイド「あすからはじまる日本賞コンクール」

日本賞コンクール事務局長 箕浦弘二

11月5日(木)午前8:40~9:30の一部

おはよう広場

「日本賞コンクール審査委員 ラナワカ女史にきく」

11月8日(日)午後9:35~9:45

NHKの窓「世界は放送で学ぶ」

参加作品フラッシュと今回のコンクールの特色について

11月9日(月)午後9:00~9:40の一部

ニュースセンター9時

「日本賞コンクール受賞作品きまる」

11月10日(火)午前7:45~8:12の一部

「日本賞コンクール審査委員長 マクファーソン氏にきく」

11月10日(火)午後10:00~10:45

特別番組「放送で結ぶ世界の教育~第13回日本賞コンクールから~」

評論家 佐藤忠男氏

日本賞コンクール審査委員 太田次郎氏 ほか

### ラジオ第2放送

11月15日(日)午後1:00~2:00

教師の時間「放送教育に期待するもの~日本賞コンクール・教育セミナー~」

### 国際放送

11月10日(火)午後9:39~9:59

「東京リポート」

日本賞コンクールからのトピックス

11月29日(日)午前0:10~0:30

「東京だより」(ヒンディー語)

今月の話題の一つとして「水の循環」の日本賞受賞を紹介

## 〔受賞作品紹介番組〕

### 教育テレビ

11月11日(水)午後7:30~8:45

「人間は何をつくってきたか~宇宙船への招待」

(成人教育部門)

日本放送協会制作~日本賞受賞作品

11月28日(土)午後3:30~5:00

「コマーシャルができるまで」(初等教育部門)

オーストラリア放送委員会制作~郵政大臣賞受賞作品

「14歳の小径」(中等教育部門)

テレビ静岡制作~阿部賞受賞作品

「日本賞」教育番組国際コンクール事務局

〒150 東京都渋谷区神南2-2-1

日本放送協会

電話 大代表(03)465-1111





**NHK**